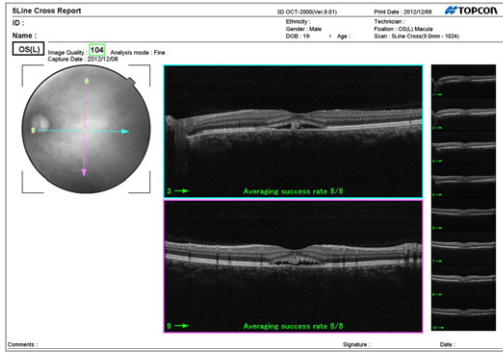
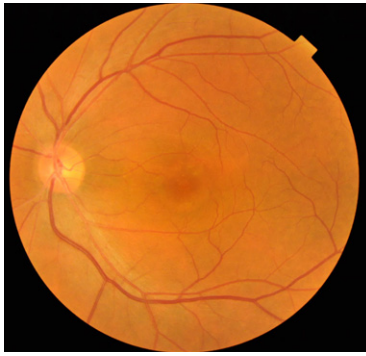


■ 事例紹介 1 : 検診でAMD指摘された患者様の例

読影依頼の検査画像



画像診断報告書サンプル

画像診断報告書

【検査情報】

依頼施設：
 部位： 眼底（黄斑）
 左
 コース： 病態診断
 参照画像： OCT、眼底
 矯正視力(右)： 1.5
 矯正視力(左)： 1.5

【患者情報】

患者ID：
 患者氏名：
 患者氏名(かな)：
 年齢：

【レポート情報】

依頼日： 2012/12/10
 最終依頼修正日： 2012/12/10
 受付日： 2012/12/10
 報告日： 2012/12/10
 報告者：

【患者主訴ならびに依頼内容】

検診でAMD指摘された患者様です。視力1.5で、ごく軽度の変視あります。左黄斑に網膜下液あり、経過観察で所見に変化ありません。網膜色素上皮症、あるいはAMDと判断すべきでしょうか

【診断ならびに所見詳細】

先生の御指摘のように、左眼は網膜下液があり、しかも視細胞外節の肥厚(矢印)がみられますので、剥離がやや遷延している病態と考えられます。病態的には中心性漿液性脈絡網膜症が考えやすいです。このままさらに経過すると視細胞層の菲薄化に陥る可能性もあるので、自覚があるなら、積極的治療(光線力学療法)を考えても良いかと思えます。

【方針】

専門医を受診させてください。

【添付画像】

